



鹿児島県  
**蘭牟田池**  
県立自然公園  
満喫周遊マップ  
IMUTA  
Guide map

時間を刻む自然のアーカイブ  
**蘭牟田池の泥炭層**  
蘭牟田池の西側と北側の湖岸帯には低層湿原が発達して、イネ科やカタリグサ科の植物が群生しています。これらの植物は枯れると堆積・炭化して泥炭を形成し、長い年月をかけて石炭へと変わっていきます。鹿児島のような温暖な土地では極めて珍しいことから大正10年に国の天然記念物に指定されて保護されています。

**道の駅 樋脇 遊湯館**  
薩摩川内市樋脇町比野156  
TEL.0996-38-2506

**おじゃったモール さつま川内館**  
薩摩川内市入来町浦之名7100-1

**道の駅 樋脇 遊湯館**  
薩摩川内市樋脇町比野156  
TEL.0996-38-2506

**あいらフットパス**  
豊かな自然散策の小さな旅を  
イギリス発祥の森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径(こみち)のことで。フットパスのコースを整備することでまちづくりのきっかけになると注目され、日本でも広まりつつあります。始良市でも観光協会が中心となり、自然景観を含めた様々なモノの魅力に着目し、フットパスを通じて始良市の活性化につながればと、コースの選定に取り組んでいます。

**ラムサール条約登録湿地 蘭牟田池**  
蘭牟田池県立自然公園は、鹿児島県に誇るラムサール条約登録湿地。火山地形が生み出した静寂の湖と周囲の緑豊かな自然は、四季折々に異なる美しさを見せてくれます。水辺には湿地植物が拡がり、空を舞う野鳥たちが訪れる人々を癒します。散策やパドウォッチング、季節の花々との出会いなど、自然と触れ合う絶好のスポット。家族や友人と、生命の息吹を感じるひとときを過ごしてみませんか？

**車で行ける山上の火口湖 蘭牟田池**

1 愛宕ビスタパーク  
パラグライダーの発進基地、展望所です。駐車場には芝生広場、トイレ、休憩所があり、紫尾山・入来峠・八重山地などが一望できます。

2 大宮神社  
君が代の生れた地  
君が代発祥の地とされています。例祭において、入来独自の「入来神楽」を奏し、神舞を奉納しています。入来神舞「十二人剣舞」の中に国歌「君が代」が朗詠されています。

3 清色城跡  
火山地形を利用した防御力  
国の史跡で、山の上から下まで一直線に切り切られている、巨大な空堀が見どころです。幅2m、高さは20m近くあります。ここから蘭牟田池外輪山を見ると、西郷さんの横顔に見えることから西郷さんと言われているとされています。

**蒲生郷田園コース**  
★所要時間：約3時間半・距離 約7.9km  
蒲生の観光交流センターをスタートし、住吉池へと巡るコースです。スタート地点周辺は、蒲生郷と呼ばれる武家集落でした。現在でも区画割りや武家屋敷にその名残を見ることが出来ます。

**水とゆきえの物語コース**  
★所要時間：約1時間半・距離 約4.5km  
田園風景と水の流れや、かつて商業で賑わいを見せていた町並みの面影などを巡るコースです。中津野用水路を作った15歳の少女、水口ゆきえの功績に思いを巡らせながら歩いてください。

**Camp**  
**蘭牟田池自然公園キャンプ場**  
予約不要の蘭牟田池キャンプ場。キャンパーたちに人気のスポットです。テントサイトはフリーサイトで構成されており車両も横付け可能。デイキャンプもOK! 屋根付きの炊事施設、水道、トイレも完備しています。空き状況などのお問い合わせは TEL:090-6267-2370まで。

**Activities**  
**蘭牟田池でのアクティビティ**  
手つかずの自然がいっぱいの蘭牟田池。春はお花見、秋は紅葉が楽しみ、野鳥も訪れた人を歓迎してくれます。

**レンタサイクル**  
ポート(3月~10月)  
釣り  
キャンプ  
トレッキング

**⑦加久藤火砕流の溶結凝灰岩**  
掛橋坂、龍門司坂、山田の凱旋門に使われている石は、34万年前の加久藤火砕流堆積物です。地元の山から切り出されました。

**⑧蒲生の大クス**  
樹齢1600年といわれ、根回り33.5mの日本一巨大な樹です。蒲生八幡神社が建立される前から、この地に根を下ろしていたと考えられます。毎年11月に秋祭りが開催されます。

**⑨新照寺**  
明治25年建立の新照寺は、珍しい石造りの寺院です。本堂内の格子天井には門徒の家紋が約500枚描かれています。

**⑩鍋倉のイワツツジ**  
正式名はハヤトミツバツツジといわれ、鹿児島県に固有の種です。ミツバツツジの中では最も早く、2月下旬から3月にかけて開花します。※イワツツジの採取は禁止されています。

**始良市にも活火山があった!**  
米丸・住吉池は、鹿児島県の中央部、鹿児島湾北岸に広がる平野の縁に位置し、ほぼ東西に並んだ2つのマールで構成されています。米丸マールは直径約1kmの円形の凹地で沖積層によって埋積されており、住吉池マールは直径約500mで水深約30mの池となっています。これらは気象庁によって活火山に選定されています。2つの火山に挟まれたところは青敷といわれ、これ約10万年前に噴火した火山なのです。

**民話 1**  
**竜伝説でつながる蘭牟田池・住吉池・大浪池**  
そのむかし、蘭牟田に男竜・女竜の二人の神様が仲よく暮らしていた。山紫水明四季それぞれに花はほころび、伏い小鳥の囀りを聞きながらの平和な日々であった。しかし、やがて男神は二人だけの生活に飽き、嵐の激しい一夜こっそり池を抜け出し行方知れずになってしまった。残された女神は男神の裏切りに気付かず、そのうち帰ってくるものとばかり信じ、男神のための陰膳を備えてその無事を祈りつづけた。捨てた陰膳の飯が一年、十年、百年と積み重なってやがて大きな山となった。この飯盛り山をのちに飯盛山というようになったという。

**住吉池の大蛇とひょうたん**  
その昔、住吉池に住んでいた大蛇は毎年村の若い娘を生贄に要求していました。聞き入れなければ、堤防を決壊させて洪水を起こしたといいます。そこへ通りかかったお坊さんが、ひょうたんで人形を作り身代わり差し出すようにいきました。これを聞いた村人は、ひょうたんに娘の着物を着せて池に浮かべました。大蛇はこれを一飲みしにしようとしたが、ひょうたんはひらひらりとすりぬけ、やがて大蛇は力尽きて死んでしまいました。

**住吉池**  
縄文的景観を残す火口湖

**⑪新照寺**  
明治25年建立の新照寺は、珍しい石造りの寺院です。本堂内の格子天井には門徒の家紋が約500枚描かれています。

**⑫米山薬師**  
この井戸水を飲んだり塗ったりすることで、天然痘が防げると信じられていた。鹿児島県で天然痘が流行した際には、毎日1000人以上が訪れたこともあり、付近の桜公園は、錦江湾が一望できる穴場スポットになっています。

**森と生きた縄文人「前田遺跡」**  
約4500年前の縄文時代中期の遺跡からおよそ11万個のドングリ(イヌイガシ)と共に、多数のイチガシの樹皮製の編みかごが発見されました。当時のかごが見つかるのは全国でも極めて珍しく、当時の人々の暮らしを解明する手掛かりとして注目されています。また、これらのかごは現代に伝わっている編み方とはほぼ変わっており、縄文時代の人々の技術力の高さもうかがえます。始良市歴史民俗資料館で出土品を見学できます。

**住吉池とのつながり**  
月日はむなく過ぎ、何年たっても男神は帰らない。そのうち嵐の便りに、男神は霧島の大浪の池で他の女神たちと一緒に暮らしていることがわかった。淋しさと恋しさで堪えかねた女神は、どうにかして男神を連れ戻そうと思った。しかし、竜神が旅をするにはほともの巨大な竜の姿に化かして雲に乗って行かなくてはならない。女神は雲のある夜毎に、竜の姿に化かして天に上ろうとしたが、一向に雲に手が届かず、いたづらに滑っては山の斜面を崩すばかりであった。

**蘭牟田池の竜石**  
こうして、幾百年、幾千年と時は過ぎたが、女神はどうしても男神を諦めることができず、闇々の日夜を重ねていた。池水に写る自分の姿はいつに変わらぬ若々しく美しいけれども、一旦竜の姿に戻るとさすがに年寄り、髪は真白、背には苔や水草が生えて見る影もない。このような姿に里の人に見られることを恐れた女神は、霧の深い夜を待ち続けた。

**住吉池の大蛇とひょうたん**  
その昔、住吉池に住んでいた大蛇は毎年村の若い娘を生贄に要求していました。聞き入れなければ、堤防を決壊させて洪水を起こしたといいます。そこへ通りかかったお坊さんが、ひょうたんで人形を作り身代わり差し出すようにいきました。これを聞いた村人は、ひょうたんに娘の着物を着せて池に浮かべました。大蛇はこれを一飲みしにしようとしたが、ひょうたんはひらひらりとすりぬけ、やがて大蛇は力尽きて死んでしまいました。

**住吉池の大蛇とひょうたん**  
その昔、住吉池に住んでいた大蛇は毎年村の若い娘を生贄に要求していました。聞き入れなければ、堤防を決壊させて洪水を起こしたといいます。そこへ通りかかったお坊さんが、ひょうたんで人形を作り身代わり差し出すようにいきました。これを聞いた村人は、ひょうたんに娘の着物を着せて池に浮かべました。大蛇はこれを一飲みしにしようとしたが、ひょうたんはひらひらりとすりぬけ、やがて大蛇は力尽きて死んでしまいました。

**住吉池の大蛇とひょうたん**  
その昔、住吉池に住んでいた大蛇は毎年村の若い娘を生贄に要求していました。聞き入れなければ、堤防を決壊させて洪水を起こしたといいます。そこへ通りかかったお坊さんが、ひょうたんで人形を作り身代わり差し出すようにいきました。これを聞いた村人は、ひょうたんに娘の着物を着せて池に浮かべました。大蛇はこれを一飲みしにしようとしたが、ひょうたんはひらひらりとすりぬけ、やがて大蛇は力尽きて死んでしまいました。

**Camp**  
**住吉池キャンプ場**  
テントとバンガローがあり、静かな自然に囲まれた湖畔でのんびりできるキャンプ場。家族連れやグループに人気です。開村期間は7-8月。宿泊日曜日の17時までにご予約をお願いします。火気利用は開村期間のみとなっております。

**おじゃったモール さつま川内館**  
薩摩川内市入来町浦之名7100-1

**おじゃったモール さつま川内館**  
薩摩川内市入来町浦之名7100-1

**おじゃったモール さつま川内館**  
薩摩川内市入来町浦之名7100-1

**おじゃったモール さつま川内館**  
薩摩川内市入来町浦之名7100-1